

製品名: ATG7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00080**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 78 kDa; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG7
別名	hAGP7; Ubiquitin-activating enzyme E1-like protein; APG7L
遺伝子 ID	10533
SwissProt ID	O95352
免疫原	ヒト ATG7 の合成ペプチド

背景

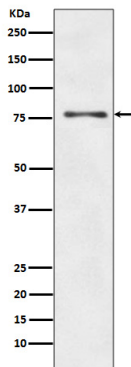
オートファジーの分子機構は主に酵母で発見され、オートファジー関連遺伝子 (Atg) と呼ばれています。オートファゴソームの形成

には、ユビキチン様結合システムが関与しており、Atg12はAtg5に共有結合してオートファゴソーム小胞へと輸送されます。この結合反応は、ユビキチンE1様酵素Atg7とE2様酵素Atg10によって媒介されます。

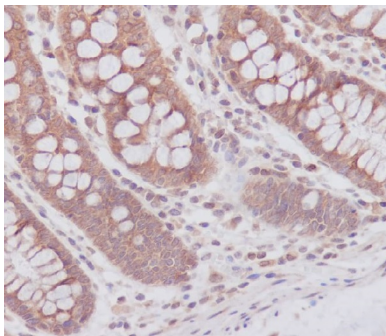
研究分野

細胞生物学

画像データ



ATG7抗体を使用したHepG2溶解物中のATG7のウエスタンブロット分析。



ATG7抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。